

(公社) 日本スカッシュ協会定時社員総会報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

平成 29 年 6 月 11 日に国立スポーツ科学センター会議室にて開催されました「公益社団法人日本スカッシュ協会 平成 29 年度定時社員総会」におきまして、下記の議事が検討されましたのでご報告致します。

議事 : 1、平成 28 年度事業報告並びに財務諸表⇒承認

報告事項 : 1、平成 28 年度スカッシュ応援募金活動報告
2、平成 29 年度事業計画並びに予算の報告
3、平成 29 年度役員、正会員、顧問、運営委員、大会・委員会
担当者報告
4、スカッシュコート購入について前向きに検討する事を
理事会にて承認

平成 28 年度 事業報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 29 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 29 年 2 月 4 日～14 日

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加人数：20 団体、1,793 名

内容：スカッシュ体験会、大会、ヒッティングパートナー、コーチング、スカッシュビンゴ、的当てゲーム、レンタル無料デーなど、<特別企画>スカッシュを愛好するヤングエグゼクティブの紹介

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行(年 2 回)

Vol. 79 (夏の号) 8 月 20 日発行

Vol. 80 (冬の号) 平成 29 年 2 月 20 日発行

ロ) 協会ホームページのリニューアル準備及び運営

ハ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び年間協賛の増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する

引き続きスカッシュの大会等におけるゴミの分別、マイカップ持参によるエコ活動及び環境ポスターの掲示を全国的に推進した。

⑤ エアースカッシュを活用した全国キャラバンを実施

昨年に引き続き、全国のスポーツイベントやホテル等のイベントでエアースカッシュ体験会を実施。大変好評でスカッシュ普及に貢献している。

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの普及と競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動

目的：海外大会でメダルが取れる選手の育成強化と普及を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動及び新たなジュニア選手の発掘育成を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の競技力向上と、次世代選手の発掘育成強化

ロ) 協会HPや全国地区支部、協会の大会等に於けるスカッシュ応援募金活動

② ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

イ) ナショナルトレーニング 対象：ジュニア各強化指定選手

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

◆日程：4月24日 参加人数：4名

◆日程：5月29日 参加人数：6名

◆日程：6月26日 参加人数：7名

◆日程：8月28日 参加人数：5名

◆日程：9月25日 参加人数：9名

◆日程：10月23日 参加人数：5名

◆日程：11月27日 参加人数：7名

◆日程：12月25日 参加人数：10名

◆日程：平成29年1月29日 参加人数：5名

◆日程：平成29年2月19日 参加人数：3名

ロ) 夏休みジュニアイベント

◆ジュニアスカウトセレクション練習会

日程：7月29日

会場：スカッシュマジックアカデミー

目的：ジュニアのU15以下の世代をターゲットにタレント選手発掘

参加：16名 (3名選出)

◆ジュニアサマーキャンプ

日程：8月30日・31日

会場：スカッシュマジックアカデミー

参加：30日 U11・U13の強化指定及び強化指定候補選手と

ジュニアスカウト対象選手4名

31日 U15&17の強化指定及び強化指定候補選手と

ジュニアスカウト対象選手7名

ハ) 平成28年度西日本ジュニア強化合宿

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：日本スカッシュ協会 中国四国支部

日程：11月5日・6日

会場：マスカットスタジアム内スカッシュコート

コーチ：佐野、アシスタント：郡司、現地担当：芦谷

参加：7名 (強化指定選手1名、ジュニアスカウト対象選手4名、
オープン練習会参加2名)

◆ジュニアスカウトセレクション in 西日本

日程：11月5日

会場：マスカットスタジアム内スカッシュコート

目的：ジュニアのU15以下の世代をターゲットにタレント選手発掘

参加：4名 (4名選出)

ニ) 平成28年度ジュニアウインターキャンプ

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成29年1月7日・8日

会場：スカッシュマジックアカデミー

コーチ：佐野 参加人数：8名

ホ) ナショナル強化委合宿・春

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：シニア・学生選抜/平成 29 年 3 月 29 日～31 日

ジュニア/平成 29 年 3 月 30 日～4 月 1 日

会場：サンセットブリーズ保田

コーチ：佐野、松本、菊池、特別コーチ：Aaron Soyza(マレーシア)

講師：神子

参加人数：28名

ト) 平成 28 年度 J S A ジュニアスカウトセレクション・春

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成 29 年 3 月 30 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム S Q - C U B E

参加人数：12名 J S A ジュニアスカウト対象選手：5名選出

② J S A 公認スカッシュコーチ特別認定講習会&試験の開催

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成 28 年 4 月 29 日

会場：スカッシュマジックアカデミー

目的： オーストラリアレベル 1 がオーストラリア国内だけのものとなってしまう
為、特別講習会及び試験を受講する事により日本スカッシュ協会のレベル 1
コーチに認定する 2 回目。

受講人数：9名

③ J S A 公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2 級・3 級>

主催：(公社) 日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：全国にて年 11 回

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設

目的：レフリー・マーカールの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の
技術向上を目的とする。

対象：3 級—スカッシュの競技歴が 1 年以上と認められる者等。

2 級—スカッシュの競技歴が 3 年以上と認められる者等。

参加人数：別表参照

内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカールのあり方、正しいジャッジ
(判断) の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールに
ついて学び、筆記試験と実技 (DVD) 試験の点数により認定の合否が
決められる。

日程	会場	主催	受講者数	受験者数	受験結果				備考
					2級合格	3級合格	4級合格	追試	
6月26日	横浜市瀬谷区公会堂	神奈川	20	15	1	2		10	
7月3日	広島市 佐伯区民文化センター	中国四国	12	14		5		6	
8月28日	杉並区 西荻地域区民センター	東京都	17	12		2		5	
10月2日	杜のホールはしもと	神奈川	10	10		2		2	
10月23日	宮城トヨタ自動車	東北	6	6		1		3	
11月13日	セントラル ウェルネスクラブ札幌	北海道	9	9		2		5	
12月18日	宮城トヨタ自動車	東北	25	10		5		2	
1月15日	西宮大学交流センター	関西	26	24		1		9	
2月19日	ウエスタ川越	四県	26	20		1		15	
2月19日 3月18日 4月23日	西宮大学交流センター	関西	46	33 (14) (9)		(1) (3)		(9) (5)	
2月26日	浜松こども館	静岡	13	11		4		4	
		計	210	154	1	29		75	

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会

イ) 第27回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程：6月4日5日

会場：さいたまスカッシュスタジアムSQ-CUBE

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23歳未満の男女

参加人数：99名

内容：トーナメント制

結果：男子優勝：海道泰喜（順天堂大学）

準優勝：林 尚輝（専修大学）

女子優勝：杉本梨沙（順天堂大学）

準優勝：丸茂珠樹（中国四国支部）

ロ) 第30回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

<ワールドジュニアサーキット(WSF) >

<アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)>

日程：8月17日～20日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手

参加人数：約221名

内容：トーナメント制

結果：男子アンダー19 優勝：Yat Long LAW(HONG KONG)

準優勝：園部大和 (First Wave)

女子アンダー19 優勝：渡邊聡美 (メッドサポートシステムズ)

準優勝：Marina STEFANONI(USA)

ハ) 第22回マスターズカーニバル

日程：10月9日・10日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。

又、5年後の「2021年関西ワールドマスターズゲームズ」を視野に入れ、現状のマスターズの勢いを衰えさせずに、2021年に臨める体制を整える。

対象：男女オーバー30、40、50、60 (初心者～ベテラン)

参加人数：127名、トリオマッチ22組

内容：トーナメント及びリーグ制

ニ) 文部科学大臣杯争奪第45回全日本スカッシュ選手権大会

<平成28年度スポーツ振興基金助成>

日程：11月17日～20日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ

参加人数：約235名 (選手権男子92名、選手権女子77名、マスターズ66名)

結果：選手権男子優勝：机龍之介 (順天堂大学) <3連覇>

選手権女子優勝：小林海咲 (メッドサポートシステムズ) <8連覇>

ホ) 第1回J S Aウインターチャレンジカップ

日程：平成28年12月29日・30日

会場：サンセットブリーズ保田

目的：日本のジュニア層の一層の拡大の為、新設された大会。

アットホームな雰囲気の中真剣な戦いが繰り広げられて盛り上がった。

参加人数：36名

へ) JOC ジュニアオリンピックカップ第21回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：平成29年3月26日～29日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手で、日本国籍を有する者
参加人数：161名

内容：トーナメント制

結果：男子アンダー19 優勝：大段 凜太郎（セントラル広島）

準優勝：園部 大和（First Wave）

女子アンダー19 優勝：渡邊 聡美（メッドサポートシステムズ）

準優勝：中平 百香（広島山陽女学園高等部）

②協会承認大会

◆鋸南クロススポーツクラブジュニアオープン

日程：11月5日・6日

会場：サンセットブリーズ保田

種目：男子U11、U13、U19、女子U15

③協会後援大会

◆第3回全日本学連交流大会

日程：10月29日

会場：埼玉スカッシュスタジアム SQ-CUBE

④海外日本代表派遣

イ) 第18回アジアスカッシュ団体選手権大会

日程：5月9日～16日

開催地：台湾（台北市）

種目：団体戦

結果：男女共銅メダル獲得！（男子の銅メダルは史上最高位）

男子（参加14カ国）1位パキスタン、2位香港、3位日本、3位インド

女子（参加7カ国）1位マレーシア、2位インド、3位日本、3位香港

ロ) 第11回東アジアスカッシュ選手権

日程：7月1日～3日

開催地：マカオ

種目：男女混合団体戦

結果：日本チーム銀メダル獲得！

（参加6カ国）1位香港、2位日本、3位韓国、4位中国、

5位マカオ、6位台湾

ハ) 香港ジュニアオープン 2016

日程：7月27日～31日

開催地：香港

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

主な結果：机龍之介 U19 男子優勝！

渡邊聡美 U19 女子優勝！

ニ) 世界ジュニアスカッシュ選手権大会・個人戦

日程：8月4日～13日

開催地：ポーランド・ビエルスコビャワ

種目：男女個人戦

主な結果：机龍之介 ベスト8

渡邊聡美 10位

ホ) PBA第14回ペナンジュニアオープン2016

日程：8月22日～27日

開催地：マレーシア

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

主な結果：渡邊聡美 U19 優勝

へ) 世界学生選手権

日程：9月5日～11日

開催地：マレーシア・クアラルンプール

種目：個人戦・団体戦

結果：(参加20カ国) 団体戦・銅メダル獲得！

ト) 第23回アジアジュニア個人選手権

日程：9月20日～25日

開催地：マレーシア

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

主な結果：渡邊聡美 U19 準優勝

チ) WSF女子世界団体スカッシュ選手権大会2016

日程：11月28日～12月3日

開催地：フランス/パリ

種目：女子団体戦

結果：日本チーム 11位 (過去最高位獲得)

リ) 第18回アジアジュニア選手権団体戦

日程：平成29年2月1日～5日

開催地：香港

種目：男女団体戦

結果：男子10位、女子3位 (女子は史上最高記録)

⑤主な海外派遣承認大会 (個人参加含)

イ) シンガポールジュニアオープン

日程：11月30日～

開催地：シンガポール

主な結果：渡邊安佑美 U15 3位

ロ) USジュニアオープン

日程：12月17日～20日

開催地：アメリカ

主な結果：渡邊聡美 U19 優勝 (2013年～U15、U17、U19は2年連続、4年連続優勝)

☆渡邊聡美選手、平成28年11月ジュニア世界ランキング1位！

⑥国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：国際大会の開催により海外選手と対戦する機会を作り日本選手の技術の向上を図る。又、間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：2018年東アジアスカッシュ選手権や2021年関西ワールドマスターズゲームズ等の国際大会の日本開催、そして2020年東京オリンピック公開競技(名称「スポーツ・ラボ」)実施の可能性に向けて準備。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2018年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させた。

又、2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会に向けての情報収集を行った。

対象：男女ナショナルチーム

種目：男女シングル戦、団体戦(ダブルスの可能性あり)

内容：選手強化の為に合宿を集中して行った。

② オリンピック競技大会でのスカッシュ実現の為に推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為に、2020年オリンピックの実験的競技(スポーツ・ラボ)入り及び2024年正式競技入りを積極的に推進。

内容：WSF(世界スカッシュ連盟)との連携により、IOC(国際オリンピック委員会)並びに2020年東京オリンピック組織委員会へ実験的競技(スポーツ・ラボ)の実現及び2024年オリンピック正式競技に向けての準備。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

<平成28年スポーツ振興くじ助成>

内容：(公財)日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為に啓蒙活動を積極的に行った。競技会検査は28年11月の全日本スカッシュ選手権大会にて実施。啓蒙活動(アウトリーチ)は全日本学

生個人戦の会場にて実施。

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

内容：*個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図った。但し、平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

*世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図った。

*公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の規定等全国統一とレベルアップを図った。平成26年度より、ジュニアランキングも施行している。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

目的：引き続き学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化した。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：今後建設予定の施設等へのスカッシュコート設置の情報収集を積極的に行った。

⑧ 体育協会加盟に向けての活動

目的：スカッシュの更なる普及を目指して、全国各支部体制を強化し各都道府県及び市の体育協会への加盟実現に向けて準備をした。(岩手県支部の設立、北海道、川崎市等準備中)

⑨ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の全国的普及振興に努力した。

平成 28 年度会員数&公認数

<個人会員>

() は前年

会員種別	人数
正会員	34 名(34 名)
プロ選手会員	36 名(39 名)
個人選手会員	658 名(680 名)
ジュニア会員	221 名(234 名)
一般会員	218 名(192 名)
個人後援会員	4 名(3 名)
学連会員	937 名(937 名)

個人会員総計名 2,108 名
(2,119 名/)

<団体会員>

() は前年

会員種別	団体数
団体会員	100(100)
準団体会員	24(26)
クラブチーム会員	16(17)

<個人会員と一般会員の支部別内訳> () は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	41 (49)	15(6)
東北	60 (65)	19 (17)
関東	348(366)	98 (81)
中部	47 (47)	29 (29)
関西	81(79)	31(33)
中国四国	46 (42)	19(23)
九州	35 (32)	7 (7)

<平成 28 年度公認件数>

コート公認数	2 件
大会公認数(協会主催大会を除く)	52 大会 (オープン 34 U23 2、 マスターズ 1、地区支部クローズ 7、 県支部クローズ 5、学連 5)
ボール公認数	1 件
コーチ公認更新数	19 件
レフリー公認更新数	69 件

(2017.3.31.)

貸借対照表

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	11,121,094	15,060,998	△ 3,939,904
棚 卸 資 産	30,287	26,637	3,650
前 払 金	0	98,506	△ 98,506
未 収 金	6,934,200	3,428,353	3,505,847
流動資産合計	18,085,581	18,614,494	△ 528,913
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	33,444,694	33,444,694	0
基本財産合計	33,444,694	33,444,694	0
(2) 特定資産			
公益事業基金（大会開催）引当預金	7,000,000	6,900,000	100,000
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金	4,700,000	4,600,000	100,000
ス ポ ー ツ ラ ボ 引 当 預 金	2,000,000	2,000,000	0
国 際 大 会 開 催 引 当 預 金	1,200,000	0	1,200,000
新 事 務 所 保 証 金 引 当 預 金	1,200,000	0	1,200,000
退 職 給 付 引 当 預 金	300,000	100,000	200,000
特定資産合計	16,400,000	13,600,000	2,800,000
(3) その他固定資産			
保 証 金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	200,000	200,000	0
固定資産合計	50,044,694	47,244,694	2,800,000
資産合計	68,130,275	65,859,188	2,271,087
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,231,648	1,405,126	△ 173,478
前 受 金	2,492,800	3,496,400	△ 1,003,600
預 り 金	795,000	60,000	735,000
流動負債合計	4,519,448	4,961,526	△ 442,078
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	300,000	100,000	200,000
固定負債合計	300,000	100,000	200,000
負債合計	4,819,448	5,061,526	△ 242,078
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(33,444,694)	(33,444,694)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,100,000)	(13,500,000)	(2,600,000)
正味財産合計	63,310,827	60,797,662	2,513,165
負債及び正味財産合計	68,130,275	65,859,188	2,271,087

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[10,267]	[10,412]	[△ 145]
基本財産受取利息	10,267	10,412	△ 145
受取会費	[15,777,150]	[16,213,950]	[△ 436,800]
正会員受取会費	367,200	356,400	10,800
賛助会員個人受取会費	9,523,650	9,707,100	△ 183,450
賛助会員団体受取会費	2,916,000	3,213,000	△ 297,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	2,360,300	2,327,450	32,850
事業収益	[23,512,825]	[25,805,229]	[△ 2,292,404]
補助金・委託金等収入	5,332,000	4,479,000	853,000
協賛金収入	3,495,880	6,797,466	△ 3,301,586
入場料収入	1,577,838	1,675,768	△ 97,930
参加料収入	9,312,595	10,520,539	△ 1,207,944
その他の収入	3,781,201	2,243,913	1,537,288
雑収入	13,311	88,543	△ 75,232
受取補助金等	[6,051,000]	[8,039,000]	[△ 1,988,000]
民間補助金収入	3,535,000	5,361,000	△ 1,826,000
国庫等助成金	2,516,000	2,678,000	△ 162,000
受取寄付金	[1,020,009]	[210,862]	[809,147]
受取寄付金	924,000	0	924,000
募金収益	96,009	210,862	△ 114,853
雑収益	[252]	[2,533]	[△ 2,281]
受取利息	252	2,533	△ 2,281
経常収益計	46,371,503	50,281,986	△ 3,910,483
(2) 経常費用			
事業費	[27,093,289]	[31,638,727]	[△ 4,545,438]
コートフィット	2,502,230	3,092,167	△ 589,937
パンフレット	858,136	936,539	△ 78,403
参加賞	524,088	737,643	△ 213,555
トロフィー・メダル	312,290	203,222	109,068
保険代	75,820	25,952	49,868
交通費	66,549	234,560	△ 168,011
宿泊費	373,279	3,165,050	△ 2,791,771
郵送費	1,085,698	1,280,464	△ 194,766
雑費	2,048,521	1,187,448	861,073
諸謝金	1,677,500	2,787,443	△ 1,109,943
旅費	547,268	1,346,985	△ 799,717
旅費	3,809,706	2,510,476	1,299,230
滞在費	2,924,976	2,454,512	470,464
借料及び損料	1,113,610	900,031	213,579
消耗品費	518,233	31,115	487,118
スポンジ用品費	217,485	138,348	79,137
備用品費	3,225	0	3,225
印刷製本費	1,462,934	1,345,524	117,410
通信運搬費	78,078	23,256	54,822
雑役務費	3,589,376	2,446,385	1,142,991
保険料	180,100	143,530	36,570
その他	162,388	467,667	△ 305,279
対象外経費	2,185,549	4,899,160	△ 2,713,611

科 目	当年度	前年度	増 減
給 付 金 支 出	766,500	819,500	△ 53,000
雑 支 出	9,750	461,750	△ 452,000
管 理 費	[16,765,049]	[16,054,577]	[710,472]
給 費 交 通 与	10,853,609	9,492,635	1,360,974
旅 費 交 通 費	626,880	610,870	16,010
通 信 ・ 運 搬 費	382,948	262,875	120,073
会 議 費	6,357	19,400	△ 13,043
消 耗 什 器 備 品 費	443,646	550,643	△ 106,997
印 刷 製 本 費	45,100	78,404	△ 33,304
光 熱 水 料 費	241,189	243,057	△ 1,868
賃 借 料	1,465,500	1,320,000	145,500
社 会 保 険 料	1,675,882	2,229,746	△ 553,864
負 担 金 支 出	466,700	490,386	△ 23,686
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	221,296	281,714	△ 60,418
登 記 費 用	115,740	34,380	81,360
雑 費	70,202	290,467	△ 220,265
経常費用計	43,858,338	47,693,304	△ 3,834,966
評価損益等調整前当期経常増減額	2,513,165	2,588,682	△ 75,517
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,513,165	2,588,682	△ 75,517
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,513,165	2,588,682	△ 75,517
一般正味財産期首残高	60,797,662	58,208,980	2,588,682
一般正味財産期末残高	63,310,827	60,797,662	2,513,165
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,310,827	60,797,662	2,513,165

正味財産増減計算書内訳表
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[0]	[0]	[10,267]	[10,267]
基本財産受取利息	0	0	10,267	10,267
受取会費	[7,888,575]	[0]	[7,888,575]	[15,777,150]
正会員受取会費	183,600	0	183,600	367,200
賛助会員個人受取会費	4,761,825	0	4,761,825	9,523,650
賛助会員団体受取会費	1,458,000	0	1,458,000	2,916,000
加 盟 金	305,000	0	305,000	610,000
公 認 料	1,180,150	0	1,180,150	2,360,300
事業収益	[23,512,825]	[0]	[0]	[23,512,825]
補助金・委託金等収入	5,332,000	0	0	5,332,000
協賛金収入	3,495,880	0	0	3,495,880
入場料収入	1,577,838	0	0	1,577,838
参加料収入	9,312,595	0	0	9,312,595
その他の収入	3,781,201	0	0	3,781,201
雑収入	13,311	0	0	13,311
受取補助金等	[6,051,000]	[0]	[0]	[6,051,000]
民間補助金収入	3,535,000	0	0	3,535,000
国庫等助成金	2,516,000	0	0	2,516,000
受取寄付金	[1,020,009]	[0]	[0]	[1,020,009]
受取寄付金	924,000	0	0	924,000
募金収益	96,009	0	0	96,009
雑受取利息	[0]	[0]	[252]	[252]
受取利息	0	0	252	252
経常収益計	38,472,409	0	7,899,094	46,371,503
(2) 経常費用				
事業費	[27,093,289]	[0]	[0]	[27,093,289]
コート・フット	2,502,230	0	0	2,502,230
パンフレット	858,136	0	0	858,136
参加賞	524,088	0	0	524,088
トロフィー・メダル	312,290	0	0	312,290
保険代	75,820	0	0	75,820
交通費	66,549	0	0	66,549
宿泊費	373,279	0	0	373,279
郵送費	1,085,698	0	0	1,085,698
雑費	2,048,521	0	0	2,048,521
諸謝金	1,677,500	0	0	1,677,500
旅費	547,268	0	0	547,268
渡航費	3,809,706	0	0	3,809,706
滞在費	2,924,976	0	0	2,924,976
借料及び損料	1,113,610	0	0	1,113,610
消耗品費	518,233	0	0	518,233
スポーツ用品費	217,485	0	0	217,485
備品費	3,225	0	0	3,225
印刷製本費	1,462,934	0	0	1,462,934
通信運搬費	78,078	0	0	78,078
雑役務費	3,589,376	0	0	3,589,376
保険料	180,100	0	0	180,100
その他	162,388	0	0	162,388
対象外経費	2,185,549	0	0	2,185,549
給付金支出	766,500	0	0	766,500
雑支出	9,750	0	0	9,750
管理費	[12,590,986]	[0]	[4,174,063]	[16,765,049]
給与	8,682,888	0	2,170,721	10,853,609
旅費	501,504	0	125,376	626,880
通信・運搬費	306,360	0	76,588	382,948
会議費	3,178	0	3,179	6,357
消耗什器備品費	354,918	0	88,728	443,646
印刷製本費	36,080	0	9,020	45,100
光熱水料費	192,952	0	48,237	241,189

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
賃借料	1,172,400	0	293,100	1,465,500
社会保険料	1,340,706	0	335,176	1,675,882
負担金支出	0	0	466,700	466,700
公認会計士他費用	0	0	150,000	150,000
公益法人関連費用	0	0	221,296	221,296
登記費	0	0	115,740	115,740
雑費	0	0	70,202	70,202
経常費用計	39,684,275	0	4,174,063	43,858,338
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,211,866	0	3,725,031	2,513,165
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,211,866	0	3,725,031	2,513,165
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,211,866	0	3,725,031	2,513,165
一般正味財産期首残高	0	0	60,797,662	60,797,662
一般正味財産期末残高	△ 1,211,866	0	64,522,693	63,310,827
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 1,211,866	0	64,522,693	63,310,827

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2.基本財産及び特定資産の増減額及び残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	100,000	200,000	-	-	300,000

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 ----- 移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 ----- 先入先出法による原価法
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 ----- 職員退職金の支払に備えて職員退職給与規定に基づく
期末における自己都合要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理 ----- 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	33,444,694	0	0	33,444,694
小計	33,444,694	0	0	33,444,694
特定資産				
大会開催引当預金	6,900,000	100,000	0	7,000,000
トレセン建設引当預金	4,600,000	100,000	0	4,700,000
スポーツラボ引当預金	2,000,000	0	0	2,000,000
国際大会開催引当預金	0	1,200,000	0	1,200,000
新事務所保証金引当預金		1,200,000	0	1,200,000
退職給付引当預金	100,000	200,000	0	300,000
小計	13,600,000	2,800,000	0	16,400,000
合 計	47,044,694	2,800,000	0	49,844,694

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	33,444,694	(0)	(33,444,694)	(0)
小計	33,444,694	(0)	(33,444,694)	(0)
特定資産				
大会開催引当預金	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
トレセン建設引当預金	4,700,000	(0)	(4,700,000)	(0)
スポーツラボ引当預金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
国際大会開催引当預金	1,200,000	(0)	(1,200,000)	(0)
新事務所保証金引当預金	1,200,000	(0)	(1,200,000)	(0)
退職給付引当預金	300,000	(0)	(0)	(300,000)
小計	16,400,000	(0)	(16,100,000)	(300,000)
合 計	49,844,694	(0)	(49,544,694)	(300,000)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
選手強化NF事業補助金	日本オリンピック委員会	0	5,332,000	5,332,000	0	—
小計		0	5,332,000	5,332,000	0	
補助金						
選手強化交付金	日本オリンピック委員会	0	2,535,000	2,535,000	0	—
ジュニア育成助成金	ミズノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	—
小計		0	3,535,000	3,535,000	0	
助成金						
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	1,565,000	1,565,000	0	—
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	951,000	951,000	0	—
小計		0	2,516,000	2,516,000	0	
合計		0	11,383,000	11,383,000	0	

財産目録

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額		
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	51,140	
		普通預金	普通預金合計	10,309,875	
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	運転資金として	5,953,752	
		三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	892	
		三井住友銀行 神田支店	運転資金として	301,465	
		みずほ銀行 神田支店	運転資金として	8,509	
		りそな銀行 神田支店	運転資金として	20,688	
		シティバンク 大手町支店	運転資金として	3,535,344	
		シティバンク 大手町支店	運転資金として (外貨)	412,577	
		朝日信用金庫 湯島支店	運転資金として	20,204	
		ゆうちょ銀行 神田局	運転資金として	56,444	
		定期預金	定期預金合計	760,079	
		三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	107,341	
		三井住友銀行 神田支店	運転資金として	413,642	
		みずほ銀行 神田支店	運転資金として	107,341	
		りそな銀行 神田支店	運転資金として	100,850	
		シティバンク 大手町支店	運転資金として	21,801	
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	運転資金として	9,104	
		棚卸資産	手元保管	公益目的事業分 (本・ビデオ) 及び 法人会計分 (切手) として	30,287
		未収金 その他	JOC補助金・会費等	公益目的事業分として	6,934,200
流動資産合計			18,085,581		
(固定資産) 基本財産	定期預金		定期預金合計	33,444,694	
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	5,102,860	
		三菱UFJ銀行 神田駅前支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	9,006,301	
		みずほ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	9,006,301	
		りそな銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	8,309,208	
		シティバンク 大手町支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	2,020,024	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	公益事業基金（大会開催）引当預金		公益事業基金（大会開催）引当預金合計	7,000,000
		三井住友銀行 神田支店	特定費用準備資金として	3,300,000
		ゆうちょ銀行 神田局	特定費用準備資金として	1,700,000
		りそな銀行 神田支店	特定費用準備資金として	500,000
		みずほ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	1,500,000
	トレセン建設 引当預金		トレセン建設引当預金合計	4,700,000
		三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	3,400,000
		朝日信用金庫 湯島支店	公益目的事業分として	1,300,000
	スポーツラボ引当預 金		スポーツラボ引当預金合計	2,000,000
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	1,200,000
		三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	800,000
	国際大会開催引当預 金		国際大会開催引当預金合計	1,200,000
		三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	1,200,000
	新事務所保証金引当 預金		新事務所保証金引当預金合計	1,200,000
三菱東京UFJ銀行 神田支店		法人会計・管理費分として	1,200,000	
退職給付引当預金		退職給付引当預金合計	300,000	
	三菱東京UFJ銀行 神田支店	法人会計・管理費分として	300,000	
その他固定資産	保証金	事務所保証金	公益目的保有財産として(20%) 公益目的事業の不可欠特定財産として(80%)	200,000
固定資産合計				50,044,694
資産合計				68,130,275
(流動負債)	未払金		未払金合計	1,231,648
		3月分給料	法人会計・管理費分として	672,933
		大会経費 その他	公益目的事業分として 法人会計・管理費分として	10,175 548,540
	前受金		前受金合計	2,492,800
		次年度会費 その他	公益目的事業分として 公益目的事業分として	2,438,800 54,000
	預り金	賞金	公益目的事業分として	795,000 795,000
流動負債合計				4,519,448
(固定負債)	退職給付引当金		法人会計・管理費分として	300,000

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
固定負債合計			300,000
負債合計			4,819,448
正味財産			63,310,827

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[20,000]	[10,267]	[9,733]
基本財産利息収入	20,000	10,267	9,733
会費収入	[15,847,300]	[15,777,150]	[70,150]
正会員会費収入	442,800	367,200	75,600
賛助会員個人会費	9,269,500	9,523,650	△ 254,150
賛助会員団体会費	3,390,000	2,916,000	474,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	2,135,000	2,360,300	△ 225,300
事業収入	[19,274,900]	[23,512,825]	[△ 4,237,925]
補助金・委託金等収入	3,400,000	5,332,000	△ 1,932,000
協賛金収入	6,885,200	3,495,880	3,389,320
入場料収入	0	1,577,838	△ 1,577,838
参加料収入	6,029,700	9,312,595	△ 3,282,895
その他の収入	2,460,000	3,781,201	△ 1,321,201
雑収入	500,000	13,311	486,689
補助金等収入	[6,905,000]	[6,051,000]	[854,000]
民間補助金収入	2,500,000	3,535,000	△ 1,035,000
国庫等助成金	4,405,000	2,516,000	1,889,000
寄付金収入	[500,000]	[1,020,009]	[△ 520,009]
寄付金収入	300,000	924,000	△ 624,000
募金収入	200,000	96,009	103,991
雑収入	[2,500]	[252]	[2,248]
受取利息	2,500	252	2,248
事業活動収入計	42,549,700	46,371,503	△ 3,821,803
2. 事業活動支出			
事業費	[26,944,700]	[27,097,539]	[△ 152,839]
コートフレッツト	2,082,640	2,502,230	△ 419,590
パンフレット	1,935,660	858,136	1,077,524
参加賞	632,800	524,088	108,712
トロフィ・メダル	445,160	312,290	132,870
保険代理	15,656	75,820	△ 60,164
交通費	579,098	66,549	512,549
宿泊費	788,020	373,279	414,741
郵送費	193,525	1,069,611	△ 876,086
雑費	509,472	2,057,521	△ 1,548,049
諸謝金	2,573,494	1,677,500	895,994
旅費	954,920	547,268	407,652
渡航費	3,719,980	3,809,706	△ 89,726
滞在費	3,343,500	2,924,976	418,524
借料及び損料	850,000	1,113,610	△ 263,610
消耗品費	0	518,233	△ 518,233
スポーツ用品費	391,905	217,485	174,420
備品費	0	3,225	△ 3,225
印刷製本費	1,376,224	1,462,934	△ 86,710
通信用本搬	79,843	99,165	△ 19,322
雑役務費	3,430,964	3,589,376	△ 158,412
保険料	0	180,100	△ 180,100
その他	4,693	162,388	△ 157,695
対象外経費	1,637,146	2,185,549	△ 548,403
給付金支出	900,000	766,500	133,500

科 目	予算額	決算額	差 異
雑 支 出	500,000	0	500,000
管 理 費	[15,305,000]	[16,564,449]	[△ 1,259,449]
給 与 費	8,900,000	10,653,609	△ 1,753,609
旅 交 通 費	500,000	626,880	△ 126,880
通 信 運 搬 費	500,000	382,348	117,652
会 議 費	50,000	6,357	43,643
消 耗 什 器 備 品 費	680,000	443,646	236,354
印 刷 製 本 費	100,000	45,100	54,900
光 熱 水 料 費	220,000	241,189	△ 21,189
賃 借 料	1,500,000	1,465,500	34,500
社 会 保 険 料	1,400,000	1,675,882	△ 275,882
負 担 金 支 出	455,000	466,700	△ 11,700
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	350,000	221,296	128,704
登 記 費 用	100,000	115,740	△ 15,740
雑 費	400,000	70,202	329,798
事業活動支出計	42,249,700	43,661,988	△ 1,412,288
事業活動収支差額	300,000	2,709,515	△ 2,409,515
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特 定 預 金 支 出	[300,000]	[2,800,000]	[△ 2,500,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	100,000	200,000	△ 100,000
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
国 際 大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	0	1,200,000	△ 1,200,000
新 事 務 所 保 証 金 引 当 預 金 支 出	0	1,200,000	△ 1,200,000
投資活動支出計	300,000	2,800,000	△ 2,500,000
投資活動収支差額	△ 300,000	△ 2,800,000	2,500,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	△ 90,485	90,485
前期繰越収支差額	0	13,626,331	△ 13,626,331
次期繰越収支差額	0	13,535,846	△ 13,535,846

収支計算書内訳表

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	業 務			合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[0]	[0]	[10,267]	[10,267]
基本財産利息収入	0	0	10,267	10,267
会費収入	[7,888,575]	[0]	[7,888,575]	[15,777,150]
正会員会費収入	183,600	0	183,600	367,200
賛助会員個人会費収入	4,761,825	0	4,761,825	9,523,650
賛助会員団体会費収入	1,458,000	0	1,458,000	2,916,000
加算金	305,000	0	305,000	610,000
公認料	1,180,150	0	1,180,150	2,360,300
事業収入	[23,512,825]	[0]	[0]	[23,512,825]
補助金・委託金等収入	5,332,000	0	0	5,332,000
協賛金収入	3,495,880	0	0	3,495,880
入場料収入	1,577,838	0	0	1,577,838
参加料収入	9,312,595	0	0	9,312,595
その他の収入	3,781,201	0	0	3,781,201
雑収入	13,311	0	0	13,311
補助金等収入	[6,051,000]	[0]	[0]	[6,051,000]
民間補助金収入	3,535,000	0	0	3,535,000
国庫等助成金	2,516,000	0	0	2,516,000
寄付金収入	[1,020,009]	[0]	[0]	[1,020,009]
寄付金収入	924,000	0	0	924,000
募金収入	96,009	0	0	96,009
雑受取利息	[0]	[0]	[252]	[252]
受取利息	0	0	252	252
事業活動収入計	38,472,409	0	7,899,094	46,371,503
2. 事業活動支出				
事業費	[27,097,539]	[0]	[0]	[27,097,539]
コピー・プリント	2,502,230	0	0	2,502,230
パソコン	858,136	0	0	858,136
参加賞	524,088	0	0	524,088
トロフィー・メダル	312,290	0	0	312,290
保険代	75,820	0	0	75,820
交通費	66,549	0	0	66,549
宿泊費	373,279	0	0	373,279
郵送費	1,069,611	0	0	1,069,611
雑費	2,057,521	0	0	2,057,521
諸謝金	1,677,500	0	0	1,677,500
旅費	547,268	0	0	547,268
渡滞航費	3,809,706	0	0	3,809,706
滞在在費	2,924,976	0	0	2,924,976
借料及び損料	1,113,610	0	0	1,113,610
消耗品費	518,233	0	0	518,233
スポーツ用品費	217,485	0	0	217,485
備品費	3,225	0	0	3,225
印刷製本費	1,462,934	0	0	1,462,934
通信運搬費	99,165	0	0	99,165
雑役務費	3,589,376	0	0	3,589,376
保険料	180,100	0	0	180,100
その他	162,388	0	0	162,388
対象外経費	2,185,549	0	0	2,185,549
給付金支出	766,500	0	0	766,500
管理費	[12,430,986]	[0]	[4,133,463]	[16,564,449]
給与	8,522,888	0	2,130,721	10,653,609
旅費	501,504	0	125,376	626,880
通信運搬費	306,360	0	75,988	382,348
会議費	3,178	0	3,179	6,357
消耗什器備品費	354,918	0	88,728	443,646
印刷製本費	36,080	0	9,020	45,100
光熱水料	192,952	0	48,237	241,189
貸借料	1,172,400	0	293,100	1,465,500
社保料	1,340,706	0	335,176	1,675,882

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
負 担 金 支 出	0	0	466,700	466,700
公 認 会 計 士 他 費 用	0	0	150,000	150,000
公 益 法 人 関 連 費 用	0	0	221,296	221,296
登 記 費 用	0	0	115,740	115,740
雑 費	0	0	70,202	70,202
事業活動支出計	39,528,525	0	4,133,463	43,661,988
事業活動収支差額	△ 1,056,116	0	3,765,631	2,709,515
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特 定 預 金 支 出	[1,400,000]	[0]	[1,400,000]	[2,800,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	0	0	200,000	200,000
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	100,000	0	0	100,000
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	100,000	0	0	100,000
国 際 大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	1,200,000	0	0	1,200,000
新 事 務 所 保 証 金 引 当 預 金 支 出	0	0	1,200,000	1,200,000
投資活動支出計	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000
投資活動収支差額	△ 1,400,000	0	△ 1,400,000	△ 2,800,000
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 2,456,116	0	2,365,631	△ 90,485
前期繰越収支差額	0	0	13,626,331	13,626,331
次期繰越収支差額	△ 2,456,116	0	15,991,962	13,535,846

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲 ----- 現金預金、未収金、未払金、前払金、前受金、仮払金、仮受金、預り金
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	15,060,998	11,121,094
前払金	98,506	0
未収金	3,428,353	6,934,200
合 計(1)	18,587,857	18,055,294
未払金	1,405,126	1,231,648
前受金	3,496,400	2,492,800
預り金	60,000	795,000
合 計(2)	4,961,526	4,519,448
次期繰越収支差額(1)－(2)	13,626,331	13,535,846

独立監査人の監査報告書

平成29年5月15日

公益社団法人日本スカッシュ協会

会長 笠原 一也 殿

十川公認会計士事務所

公認会計士

十川 稔 

<財務諸表監査>

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これは、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成29年3月31日現在の平成28年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人日本スカッシュ協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

平成 29 年 5 月 15 日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

公益社団法人 日本スカッシュ協会

監事

友 清 和 幸 

監事

山 岸 和 幸 

私たち監事は、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。
- (2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査については、独立監査人から監査実施状況及び結果について報告を受け、財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及び附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査結果
財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。また、独立監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上

平成28年度スカッシュ応援募金活動等報告

公益社団法人日本スカッシュ協会 選手強化委員会

一昨年度から新たに「スカッシュ応援募金」としてスタート致しました(公社)日本スカッシュ協会のアクションプラン活動等にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、平成28年度の主な関連活動内容をご報告致します。平成27年度に引き続き、JOCやミズノ様からの助成金等がありました。28年度は活発な活動により赤字となりました。しかし、海外ジュニア大会で優勝や準優勝と活動成果を挙げる事が出来た年でもありました。今後自国開催のオリンピックに向け、非オリンピック競技の選手強化助成金減額が見込まれますが、将来のオリンピック競技入りを見据えた選手の育成強化と、コーチ力の向上事業を変わらず進めて頂きたいと思っております。ここ数年の結果に勝る結果につながる活動が継続できるよう、より一層のご支援ご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

項目	収入		支出	備考
	(寄付補助金)	(参加費等)		
スカッシュ応援募金	96,009	0	0	
JOC強化交付金	2,535,000	0	0	
JOC選手強化事業 ※表1	5,332,000	2,624,204	10,039,237	アジアJr+Sr団体、東アジア選手権、世界Jr、ペナン・香港・合宿・ブリティッシュ等
選手強化委員会(シニア)	0	43,032	579,355	強化合宿、・交通費・他
選手強化委員会(ジュニア)	0	331,799	509,695	ジュニア合宿・西日本合宿・海外ジュニア・他
ミズノ助成金	1,000,000		1,306,630	ジュニアセレクション・ジュニア遠征補助金・他
計	8,963,009	2,999,035	12,434,917	
総計		総収入	総支出	差引差額
		11,962,044	12,434,917	-472,873

表1JOC委託事業（対象経費の2/3がJOC補助。残1/3と対象外経費がJSA負担。但しJOC補助金上限あり）

項目	渡航費	滞在費	交通費	謝金	借損料	雑役務費	保険代	その他	対象外*	計
アジア選手権 団体戦	494,351	500,908	21,200	150,000	0	10,528	36,360	0	24,212	1,237,559
東アジア 選手権	496,150	5,000	17,208	30,000	0	1,296	16,310	0	2,762	568,726
香港ジュニア オープン	220,550	353,181	16,513	120,000	0	1,296	24,640	0	1,113,056	1,849,236
世界ジュニア 選手権	584,396	134,560	6,880	60,000	0	9,796	10,140	82,103	871	888,746
ペナンジュニア オープン	284,885	266,238	25,360	140,000	0	1,296	23,660	0	758,897	1,500,336
アジアジュニア 選手権	140,020	151,712	4,000	50,000	0	864	11,520	0	115,195	473,311
世界女子選手権 団体戦	662,220	654,625	11,380	135,000	0	18,944	25,380	0	0	1,507,549
アジアジュニア選手権 団体戦	507,793	636,467	9,098	90,000	0	10,228	32,090	0	1,517	1,287,193
強化合宿・春	120,061	0	244,408	160,000	152,520	18,080	0	0	31,512	726,581
計										10,039,237

<内、JOC委託金 5,332,000円>

平成 29 年度 事業計画

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 30 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 30 年 2 月 4 日～19 日 (予定)

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加予定人数：約 2,000 名

内容：スカッシュ体験会、試打会、ヒッティングパートナー、コーチング、レンタル無料デー、スカッシュ大会、3/4 ゲーム大会等

※今後はチーム戦・団体戦を企画予定

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行 (年 2 回を予定)

Vol. 81 (夏の号) 7 月発行予定

Vol. 82 (冬の号) 平成 30 年 2 月発行予定

ロ) 協会ホームページのリニューアル及び運営

ハ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び年間協賛の増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する

引き続きスカッシュの大会等におけるゴミの分別、マイカップ持参によるエコ活動及び環境ポスターの掲示を全国的に推進していく。

⑤ エアースカッシュを活用した全国キャラバンを実施

一昨年より全国 12 か所以上で 1,000 名を超える参加者に体験して頂いたエアースカッシュイベントを引き続き継続して積極的に実施していく。

※今後は屋外にての実施も可能にしていきたい。

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動

目的：海外大会でメダルが取れる選手の育成強化を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動及び新たなジュニア選手の発掘育成を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の競技力向上と次世代選手の発掘育成強化。<ジュニアスカウトセレクション>の実施

ロ) 協会HPや全国地区支部、協会の大会等に於けるスカッシュ応援募金活動

② JSA 公認レベルT（普及トレーナー）及びレベル1・2（コーチ）認定講習会と認定試験の開催（WSF及びASFのコーチシステムとの連動を図る）

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：年1～3回開催予定

会場：スカッシュマジックアカデミー、他

目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得し、スカッシュの一層の技術向上を図る。

対象：レベルT—スカッシュの初心者レベルでのグループ作り等のサポートが出来る方

レベル1—一般的なクラブプレイヤーをコーチングする指導者。

レベル2—各都道府県や地区を代表出来るレベルのプレイヤーをコーチ、訓練するインストラクター

参加予定人数：各回10名前後を予定

内容：レベルT—基本知識と基本ショットの正しいストローク方法、レフリー・マーカの基本知識等。

レベル1—全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング（球出し）方法、マンツーマン&グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカの基本知識等

レベル2—レベル1より上級での全ショットとフィーディング方法を総括。スポーツ科学、スポーツ医学、基本的体力テスト、技能テストを含む。より高度な戦術とゲーム分析、又、トレーニングプログラムの組み替えや作成等の講義と実習

③ （公社）日本スカッシュ協会コーチングワークショップの開催

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：年1～3回開催

会場：スカッシュマジックアカデミー、他（東日本及び西日本を予定）

目的：選手育成にプラスになる情報を共有し、地域内クラブ内のコーチ間の指導力のレベル差を埋めると同時に、国内のコーチング全体のレベルアップを目指す。

対象：JSA公認レベル1 コーチ

JSA公認スカッシュ普及トレーナー（レベルT）

JSA強化指定選手・強化指定候補選手・スカウト対象選手の指導者

JSA強化指定選手・強化指定候補選手・スカウト対象選手のご父兄の方

参加予定人数：30名前後を予定

④ JSA公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：（公社）日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：全国にて年10回程度開催予定

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設

目的：レフリー・マーカの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。

対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。

2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。

参加予定人数：各回10～30名前後を予定

内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールについて学び、筆記試験と実技（DVD）試験の点数により認定の合否が決められる。

⑤ ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：＜ナショナルトレーニング＞月 1 回程度年間を通して実施予定
＜J S A 強化合宿＞平成 29 年 12 月と平成 30 年 3 月に実施予定
＜西日本ジュニア強化合宿＞10 月頃に実施予定
＜ジュニアキャンプ＞夏と冬に開催予定

会場：サンセットブリーズ保田、スカッシュマジックアカデミー、等

目的：アジア選手権、東アジア選手権大会、世界選手権等においてメダルを獲得する事を目標に、技術力の向上とフィジカルの強化等を目的とする。

対象：ナショナルチームの選手、強化対象選手、ジュニア選手に一般の選手もプラスした幅広いプレイヤーを対象とした中から卓越した才能を発掘し育成強化を目指す。

参加予定人数：各回 6～20 名前後を予定

内容：フィジカルチェック、コンディショニングゲーム、フィジカルトレーニング、基本ショット及び戦術練習、ゲーム練習、等。

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会 ※日程、会場等は予定

イ) 第 28 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程：6 月 3 日・4 日

会場：さいたまスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23 歳未満の男女

参加予定人数：約 100 名

内容：トーナメント制

ロ) 第 31 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

＜ワールドジュニアサーキット(WSF)＞

＜アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)＞

日程：7 月 25 日～28 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11 の選手

参加予定人数：約 240 名

内容：トーナメント制

ハ) 第23回マスターズカーニバル

日程：10月7日8日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：マスターズ年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。

また、5年後の「2021年関西ワールドマスターズゲームズ」を視野に入れ、現状のマスターズの勢いを衰えさせずに、2021年に臨める体制を整える。

対象：男女オーバー30、40、50、60（初心者～ベテラン）

参加予定人数：約150名

内容：トーナメント及びリーグ制。ペアマッチ他。

ニ) 文部科学大臣杯争奪第46回全日本スカッシュ選手権大会（冠は予定）

<平成29年度スポーツ振興基金助成予定>

日程：11月23日～26日

会場：(公財) 倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ

参加予定人数：約200名

内容：トーナメント制

ホ) 第2回JSAウィンターチャレンジカップ

日程：平成29年12月下旬

会場：サンセットブリーズ保田

対象：一般のジュニア選手

目的：ジュニアへのスカッシュ普及と拡大の為、一般のジュニアへの大会参加の機会を提供する

参加予定人数：115名

ヘ) JOC ジュニアオリンピックカップ第22回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：平成30年3月26日～29日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手で、日本国籍を有する者

参加人数：約160名

内容：トーナメント制

② 海外大会日本代表派遣(予定)

イ) 第19回アジアスカッシュ個人選手権大会

日程：4月26日～30日

開催地：インド

種目：個人戦

ロ) 東アジアスカッシュ選手権

日程：7月7日～9日

開催地：香港

種目：男女混合団体戦

ハ) ペナンジュニアオープン

日程：6月30日～7月5日

開催地：マレーシア

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ニ) 世界ジュニアスカッシュ個人選手権大会

日程：7月19日～23日

開催地：ニュージーランド

種目：男女個人戦

ホ) ワールドゲームズ

日程：7月20日～30日

開催地：ポーランド

種目：個人戦

ヘ) 香港ジュニアオープン

日程：8月1日～5日

開催地：香港

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ト) 第24回アジアジュニア個人選手権

日程：8月15日～19日

開催地：ヨルダン

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

チ) その他

KLジュニアオープン

シンガポールオープン

USジュニアオープン

ブリティッシュジュニアオープン

スコティッシュジュニアオープン

などは、協会派遣大会とはなりません、派遣支援大会となります。

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：国際大会の開催により海外選手と対戦する機会を作り日本選手の技術の向上を図る。又、間近で海外トップ選手のプレーを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：2018年東アジアスカッシュ選手権や2021年関西ワールドマスターズゲームズ等の国際大会の日本開催、そして2020年東京オリンピック実験的公開競技（名称「スポーツ・ラボ」）実施に向けて日本中をあげて準備をする。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2018年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させる。

又、2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会時のスカッシュコート設置についてロビー活動を推進する。

対象：男女ナショナルチーム

種目：男女シングル戦、団体戦

内容：選手強化の為に合宿を集中して行う。

② オリンピック競技大会でのスカッシュ実現の為に推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為に、オリンピックの実験的公開競技（スポーツ・ラボ）の実施及び正式競技入りを積極的に推進していく。

内容：WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに2020年東京オリンピック組織委員会へ実験的公開競技「スポーツ・ラボ」の実現及び2024年オリンピック正式競技入りに向けての要望運動を展開する。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

<平成29年スポーツ振興くじ助成申請>

内容：（公財）日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為に啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置。競技会検査は29年11月の全日本スカッシュ選手権大会にて実施。啓蒙活動（アウトリーチ）も全日本選手権の会場にて実施予定

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

内容：*個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図る。但し、平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

*世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図る。

*公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図る。

平成26年度より、ジュニアランキングも施行している。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

目的：引き続き学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化する。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：1、今後建設予定の各種施設へのスカッシュコート設置を積極的に働きかけする。

2、独自の資金調達により協会所有のスカッシュコート建設を目指す。

⑧ 体育協会加盟に向けての活動

目的：一層のスカッシュ普及の為、全国各支部体制を強化して各都道府県及び市の体育協会への加盟実現に向けて準備を進める。

⑨ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の全国的普及振興に努力する。

収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[10,000]	[20,000]	[△ 10,000]
基本財産受取利息	10,000	20,000	△ 10,000
受取会費	[16,767,200]	[15,847,300]	[919,900]
正会員受取会費	356,400	442,800	△ 86,400
賛助会員個人受取会費	9,800,800	9,269,500	531,300
賛助会員団体受取会費	3,300,000	3,390,000	△ 90,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	2,700,000	2,135,000	565,000
事業収益	[14,631,828]	[19,274,900]	[△ 4,643,072]
補助金・委託金等収入	2,000,000	3,400,000	△ 1,400,000
協賛金収入	3,656,828	6,885,200	△ 3,228,372
入場料収入	670,000	0	670,000
参加料収入	7,755,000	6,029,700	1,725,300
その他の収入	50,000	2,460,000	△ 2,410,000
雑収入	500,000	500,000	0
受取補助金等	[9,271,000]	[6,905,000]	[2,366,000]
民間補助金収入	2,700,000	2,500,000	200,000
国庫等助成金	6,571,000	4,405,000	2,166,000
受取寄付金	[1,000,000]	[500,000]	[500,000]
受取寄付金	0	300,000	△ 300,000
募金収益	1,000,000	200,000	800,000
雑収利益	[2,500]	[2,500]	[0]
受取利息	2,500	2,500	0
経常収益計	41,682,528	42,549,700	△ 867,172
(2) 経常費用			
事業費	[25,002,528]	[26,944,700]	[△ 1,942,172]
コートフット	2,526,990	2,082,640	444,350
パンフレット	754,500	1,935,660	△ 1,181,160
参加賞	654,400	632,800	21,600
トロフィー・メダル	389,828	445,160	△ 55,332
保険代	40,872	15,656	25,216
交通費	355,000	579,098	△ 224,098
宿泊費	129,880	788,020	△ 658,140
郵送費	220,000	193,525	26,475
雑費	572,689	509,472	63,217
諸謝金	2,273,800	2,573,494	△ 299,694
旅費	1,749,270	954,920	794,350
渡航費	2,328,900	3,719,980	△ 1,391,080
滞在費	1,904,000	3,343,500	△ 1,439,500
借料及び損料	506,880	850,000	△ 343,120
消耗品費	547,894	0	547,894
スポーツ用品費	350,011	391,905	△ 41,894
備用品費	250,000	0	250,000
印刷製本費	3,605,400	1,376,224	2,229,176
通信運搬費	100,095	79,843	20,252
雑役務費	3,281,926	3,430,964	△ 149,038
保険料	32,310	0	32,310
その他	74,083	4,693	69,390
対象外経費	1,453,800	1,637,146	△ 183,346

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
給 付 金 支 出	900,000	900,000	0
雑 支 出	0	500,000	△ 500,000
管 理 費	[16,280,000]	[15,305,000]	[975,000]
給 費 交 通 与	9,500,000	8,900,000	600,000
旅 費 交 通 費	600,000	500,000	100,000
通 信 ・ 運 搬 費	260,000	500,000	△ 240,000
会 議 費	20,000	50,000	△ 30,000
消 耗 什 器 備 品 費	550,000	680,000	△ 130,000
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0
光 熱 水 料 費	250,000	220,000	30,000
賃 借 料	1,500,000	1,500,000	0
社 会 保 険 料	2,200,000	1,400,000	800,000
負 担 金 支 出	500,000	455,000	45,000
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	300,000	350,000	△ 50,000
登 記 費 用	50,000	100,000	△ 50,000
雑 費	300,000	400,000	△ 100,000
経常費用計	41,282,528	42,249,700	△ 967,172
評価損益等調整前当期経常増減額	400,000	300,000	100,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	400,000	300,000	100,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	400,000	300,000	100,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	400,000	300,000	100,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	400,000	300,000	100,000

収支予算書(収支)

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[10,000]	[20,000]	[△ 10,000]
基本財産利息収入	10,000	20,000	△ 10,000
会費収入	[16,767,200]	[15,847,300]	[919,900]
正会員会費収入	356,400	442,800	△ 86,400
賛助会員個人会費	9,800,800	9,269,500	531,300
賛助会員団体会費	3,300,000	3,390,000	△ 90,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	2,700,000	2,135,000	565,000
事業収入	[14,631,828]	[19,274,900]	[△ 4,643,072]
補助金・委託金等収入	2,000,000	3,400,000	△ 1,400,000
協賛金収入	3,656,828	6,885,200	△ 3,228,372
入場料収入	670,000	0	670,000
参加料収入	7,755,000	6,029,700	1,725,300
その他収入	50,000	2,460,000	△ 2,410,000
雑収入	500,000	500,000	0
補助金等収入	[9,271,000]	[6,905,000]	[2,366,000]
民間補助金収入	2,700,000	2,500,000	200,000
国庫等助成金	6,571,000	4,405,000	2,166,000
寄付金収入	[1,000,000]	[500,000]	[500,000]
寄付金収入	0	300,000	△ 300,000
募金収入	1,000,000	200,000	800,000
雑収入	[2,500]	[2,500]	[0]
受取利息	2,500	2,500	0
事業活動収入計	41,682,528	42,549,700	△ 867,172
2. 事業活動支出			
事業費	[25,002,528]	[26,944,700]	[△ 1,942,172]
コピープリント	2,526,990	2,082,640	444,350
パソコンフレット	754,500	1,935,660	△ 1,181,160
参加賞	654,400	632,800	21,600
トロフィー・メダル	389,828	445,160	△ 55,332
保険代	40,872	15,656	25,216
交通費	355,000	579,098	△ 224,098
宿泊費	129,880	788,020	△ 658,140
郵送費	220,000	193,525	26,475
雑費	572,689	509,472	63,217
諸謝金	2,273,800	2,573,494	△ 299,694
旅費	1,749,270	954,920	794,350
滞航費	2,328,900	3,719,980	△ 1,391,080
滞在費	1,904,000	3,343,500	△ 1,439,500
借料及び損料	506,880	850,000	△ 343,120
消耗品費	547,894	0	547,894
スポンジ用品費	350,011	391,905	△ 41,894
備品費	250,000	0	250,000
印刷製本費	3,605,400	1,376,224	2,229,176
通信運搬費	100,095	79,843	20,252
雑役務費	3,281,926	3,430,964	△ 149,038
保険料	32,310	0	32,310
その他	74,083	4,693	69,390
対象外経費	1,453,800	1,637,146	△ 183,346
給付金支出	900,000	900,000	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
雑 支 出	0	500,000	△ 500,000
管 理 費	[16,280,000]	[15,305,000]	[975,000]
給 与 費	9,500,000	8,900,000	600,000
旅 交 通 費	600,000	500,000	100,000
通 信 ・ 運 搬 費	260,000	500,000	△ 240,000
会 議 費	20,000	50,000	△ 30,000
消 耗 什 器 備 品 費	550,000	680,000	△ 130,000
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0
光 熱 水 料 費	250,000	220,000	30,000
賃 借 料	1,500,000	1,500,000	0
社 会 保 険 料	2,200,000	1,400,000	800,000
負 担 金 支 出	500,000	455,000	45,000
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	300,000	350,000	△ 50,000
登 記 費	50,000	100,000	△ 50,000
雑 費	300,000	400,000	△ 100,000
事業活動支出計	41,282,528	42,249,700	△ 967,172
事業活動収支差額	400,000	300,000	100,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特 定 預 金 支 出	[400,000]	[300,000]	[100,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	100,000	100,000
投資活動支出計	400,000	300,000	100,000
投資活動収支差額	△ 400,000	△ 300,000	△ 100,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支予算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[0]	[0]	[10,000]	[10,000]
基本財産受取利息	0	0	10,000	10,000
受取会費	[8,383,600]	[0]	[8,383,600]	[16,767,200]
正会員受取会費	178,200	0	178,200	356,400
賛助会員個人受取会費	4,900,400	0	4,900,400	9,800,800
賛助会員団体受取会費	1,650,000	0	1,650,000	3,300,000
加公認料	305,000	0	305,000	610,000
事業収益	[14,631,828]	[0]	[0]	[14,631,828]
補助金・委託金等収入	2,000,000	0	0	2,000,000
協賛金収入	3,656,828	0	0	3,656,828
入場料収入	670,000	0	0	670,000
参加料収入	7,755,000	0	0	7,755,000
その他の収入	50,000	0	0	50,000
雑収入	500,000	0	0	500,000
受取補助金等	[9,271,000]	[0]	[0]	[9,271,000]
民間補助金収入	2,700,000	0	0	2,700,000
国庫等助成金	6,571,000	0	0	6,571,000
受取寄付金	[1,000,000]	[0]	[0]	[1,000,000]
募金収益	1,000,000	0	0	1,000,000
雑収益	[0]	[0]	[2,500]	[2,500]
受取利息	0	0	2,500	2,500
経常収益計	33,286,428	0	8,396,100	41,682,528
(2) 経常費用				
事業費	[25,002,528]	[0]	[0]	[25,002,528]
コピープリント	2,526,990	0	0	2,526,990
パソコン	754,500	0	0	754,500
参加賞	654,400	0	0	654,400
トロフィー・メダル	389,828	0	0	389,828
保険代	40,872	0	0	40,872
交通費	355,000	0	0	355,000
宿泊費	129,880	0	0	129,880
郵送費	220,000	0	0	220,000
雑費	572,689	0	0	572,689
諸謝金	2,273,800	0	0	2,273,800
旅費	1,749,270	0	0	1,749,270
渡航費	2,328,900	0	0	2,328,900
滞在費	1,904,000	0	0	1,904,000
借料及び損料	506,880	0	0	506,880
消耗品費	547,894	0	0	547,894
スポーツ用品	350,011	0	0	350,011
備品費	250,000	0	0	250,000
印刷製本費	3,605,400	0	0	3,605,400
通信運搬費	100,095	0	0	100,095
雑役務費	3,281,926	0	0	3,281,926
保険料	32,310	0	0	32,310
その他	74,083	0	0	74,083
対象外経費	1,453,800	0	0	1,453,800
給付金支出	900,000	0	0	900,000
管理費	[11,612,000]	[0]	[4,668,000]	[16,280,000]
給与	7,600,000	0	1,900,000	9,500,000
旅費	120,000	0	480,000	600,000
通信運搬費	202,000	0	58,000	260,000
会議費	10,000	0	10,000	20,000
消耗什器備品費	440,000	0	110,000	550,000
印刷製本費	80,000	0	20,000	100,000
光熱水料	200,000	0	50,000	250,000
賃貸料	1,200,000	0	300,000	1,500,000
社会保険料	1,760,000	0	440,000	2,200,000

科 目	合 計			
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
負 担 金 支 出	0	0	500,000	500,000
公 認 会 計 士 他 費 用	0	0	150,000	150,000
公 益 法 人 関 連 費 用	0	0	300,000	300,000
登 記 費 用	0	0	50,000	50,000
雑	0	0	300,000	300,000
経常費用計	36,614,528	0	4,668,000	41,282,528
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000

収支予算書内訳表(収支)
平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[0]	[0]	[10,000]	[10,000]
基本財産利息収入	0	0	10,000	10,000
会費収入	[8,383,600]	[0]	[8,383,600]	[16,767,200]
正会員会費収入	178,200	0	178,200	356,400
賛助会員個人会費	4,900,400	0	4,900,400	9,800,800
賛助会員団体会費	1,650,000	0	1,650,000	3,300,000
加盟料	305,000	0	305,000	610,000
公認料	1,350,000	0	1,350,000	2,700,000
事業収入	[14,631,828]	[0]	[0]	[14,631,828]
補助金・委託金等収入	2,000,000	0	0	2,000,000
協賛金収入	3,656,828	0	0	3,656,828
入場料収入	670,000	0	0	670,000
参加料収入	7,755,000	0	0	7,755,000
その他の収入	50,000	0	0	50,000
雑収入	500,000	0	0	500,000
補助金等収入	[9,271,000]	[0]	[0]	[9,271,000]
民間補助金収入	2,700,000	0	0	2,700,000
国庫等助成金	6,571,000	0	0	6,571,000
寄付金収入	[1,000,000]	[0]	[0]	[1,000,000]
募金収入	1,000,000	0	0	1,000,000
雑収入	[0]	[0]	[2,500]	[2,500]
受取利息	0	0	2,500	2,500
事業活動収入計	33,286,428	0	8,396,100	41,682,528
2. 事業活動支出				
事業費	[25,002,528]	[0]	[0]	[25,002,528]
コピープリント	2,526,990	0	0	2,526,990
パソコン	754,500	0	0	754,500
参加賞	654,400	0	0	654,400
トロフィー・メダル	389,828	0	0	389,828
保険代理	40,872	0	0	40,872
交通費	355,000	0	0	355,000
宿泊費	129,880	0	0	129,880
郵送料	220,000	0	0	220,000
雑費	572,689	0	0	572,689
諸謝金	2,273,800	0	0	2,273,800
旅費	1,749,270	0	0	1,749,270
渡航費	2,328,900	0	0	2,328,900
滞航費	1,904,000	0	0	1,904,000
借料及び損料	506,880	0	0	506,880
消耗品費	547,894	0	0	547,894
スポンジ用品	350,011	0	0	350,011
備品費	250,000	0	0	250,000
印刷製本費	3,605,400	0	0	3,605,400
通信運搬費	100,095	0	0	100,095
雑役務費	3,281,926	0	0	3,281,926
保険料	32,310	0	0	32,310
その他	74,083	0	0	74,083
対象外経費	1,453,800	0	0	1,453,800
給付金支出	900,000	0	0	900,000
管理費	[11,612,000]	[0]	[4,668,000]	[16,280,000]
給与	7,600,000	0	1,900,000	9,500,000
旅費	120,000	0	480,000	600,000
通信運搬費	202,000	0	58,000	260,000
会議費	10,000	0	10,000	20,000
消耗什器備品	440,000	0	110,000	550,000
印刷製本	80,000	0	20,000	100,000
光熱水料	200,000	0	50,000	250,000
賃貸料	1,200,000	0	300,000	1,500,000
社費	1,760,000	0	440,000	2,200,000
負担金	0	0	500,000	500,000

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
公 認 会 計 士 他 費 用	0	0	150,000	150,000
公 益 法 人 関 連 費 用	0	0	300,000	300,000
登 記 費 用 費	0	0	50,000	50,000
雑	0	0	300,000	300,000
事業活動支出計	36,614,528	0	4,668,000	41,282,528
事業活動収支差額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特 定 預 金 支 出	[300,000]	[0]	[100,000]	[400,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	0	0	100,000	100,000
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	100,000	0	0	100,000
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	0	0	200,000
投資活動支出計	300,000	0	100,000	400,000
投資活動収支差額	△ 300,000	0	△ 100,000	△ 400,000
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 3,628,100	0	3,628,100	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0
次期繰越収支差額	△ 3,628,100	0	3,628,100	0

収支予算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計		
	公益目的事業	収益事業	法人会計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[0]	[0]	[10,000]
基本財産受取利息	0	0	10,000
受取会費	[8,383,600]	[0]	[8,383,600]
正会員受取会費	178,200	0	178,200
賛助会員個人受取会費	4,900,400	0	4,900,400
賛助会員団体受取会費	1,650,000	0	1,650,000
加加盟金料	305,000	0	305,000
公業認料	1,350,000	0	1,350,000
事業収益	[14,631,828]	[0]	[0]
補助金・委託金等収入	2,000,000	0	0
協賛金収入	3,656,828	0	0
入場料収入	670,000	0	0
参加料収入	7,755,000	0	0
その他の収入	50,000	0	0
雑収入	500,000	0	0
受取補助金等	[9,271,000]	[0]	[0]
民間補助金収入	2,700,000	0	0
国庫等補助金	6,571,000	0	0
受取寄付金	[1,000,000]	[0]	[0]
募金収益	1,000,000	0	0
雑収益	[0]	[0]	[2,500]
受取利息	0	0	2,500
経常収益計	33,286,428	0	8,396,100
(2) 経常費用			
事業費	[25,002,528]	[0]	[0]
コピーフレット	2,526,990	0	0
パソコン	754,500	0	0
参加賞	654,400	0	0
トロフィー・メダル	389,828	0	0
保険代	40,872	0	0
交通費	355,000	0	0
宿泊費	129,880	0	0
郵送費	220,000	0	0
雑費	572,689	0	0
諸謝金	2,273,800	0	0
旅費	1,749,270	0	0
渡航費	2,328,900	0	0
滞在費	1,904,000	0	0
借料及び損料	506,880	0	0
消耗品費	547,894	0	0
スポンジ用品費	350,011	0	0
備用品費	250,000	0	0
印刷製本費	3,605,400	0	0
通信運搬費	100,095	0	0
雑務費	3,281,926	0	0
保険料	32,310	0	0
その他	74,083	0	0
対給象外金	1,453,800	0	0
管給理費	900,000	0	0
給費	[11,612,000]	[0]	[4,668,000]
旅費	7,600,000	0	1,900,000
交通費	120,000	0	480,000
通信運搬費	202,000	0	58,000
会議費	10,000	0	10,000
消耗什器備品費	440,000	0	110,000
印刷製本費	80,000	0	20,000
光熱水料	200,000	0	50,000
賃借料	1,200,000	0	300,000
社保料	1,760,000	0	440,000
経常費用計	25,002,528	0	4,668,000
経常増減の部	8,283,900	0	3,728,100

科 目	合 計			
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
負 担 金 支 出	0	0	500,000	500,000
公 認 会 計 士 他 費 用	0	0	150,000	150,000
公 益 法 人 関 連 費	0	0	300,000	300,000
登 記 費	0	0	50,000	50,000
雑 費	0	0	300,000	300,000
經常費用計	36,614,528	0	4,668,000	41,282,528
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期經常増減額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	0
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000

収支予算書(収支)

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[10,000]	[20,000]	[△ 10,000]
基本財産利息収入	10,000	20,000	△ 10,000
会費収入	[16,767,200]	[15,847,300]	[919,900]
正会員会費収入	356,400	442,800	△ 86,400
賛助会員個人会費	9,800,800	9,269,500	531,300
賛助会員団体会費	3,300,000	3,390,000	△ 90,000
加盟料	610,000	610,000	0
公認料	2,700,000	2,135,000	565,000
事業収入	[14,631,828]	[19,274,900]	[△ 4,643,072]
補助金・委託金等収入	2,000,000	3,400,000	△ 1,400,000
協賛金収入	3,656,828	6,885,200	△ 3,228,372
入場料収入	670,000	0	670,000
参加料収入	7,755,000	6,029,700	1,725,300
その他収入	50,000	2,460,000	△ 2,410,000
雑収入	500,000	500,000	0
補助金等収入	[9,271,000]	[6,905,000]	[2,366,000]
民間補助金収入	2,700,000	2,500,000	200,000
国庫等助成金	6,571,000	4,405,000	2,166,000
寄付金収入	[1,000,000]	[500,000]	[500,000]
寄付金収入	0	300,000	△ 300,000
募金収入	1,000,000	200,000	800,000
雑受取利息	[2,500]	[2,500]	[0]
受取利息	2,500	2,500	0
事業活動収入計	41,682,528	42,549,700	△ 867,172
2. 事業活動支出			
事業費	[25,002,528]	[26,944,700]	[△ 1,942,172]
コピー機	2,526,990	2,082,640	444,350
パソコン	754,500	1,935,660	△ 1,181,160
参加賞	654,400	632,800	21,600
トロフィー	389,828	445,160	△ 55,332
保険代	40,872	15,656	25,216
交通費	355,000	579,098	△ 224,098
宿泊費	129,880	788,020	△ 658,140
郵便費	220,000	193,525	26,475
雑費	572,689	509,472	63,217
諸謝金	2,273,800	2,573,494	△ 299,694
旅費	1,749,270	954,920	794,350
渡滞航費	2,328,900	3,719,980	△ 1,391,080
滞在航費	1,904,000	3,343,500	△ 1,439,500
借料及び損料	506,880	850,000	△ 343,120
消耗品費	547,894	0	547,894
スポンジ用品費	350,011	391,905	△ 41,894
備用品費	250,000	0	250,000
印刷製本費	3,605,400	1,376,224	2,229,176
通信用本搬費	100,095	79,843	20,252
雑役務費	3,281,926	3,430,964	△ 149,038
保険料	32,310	0	32,310
その他	74,083	4,693	69,390
対象外経費	1,453,800	1,637,146	△ 183,346
給付金支出	900,000	900,000	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
雑 支 出	0	500,000	△ 500,000
管 理 費	[16,280,000]	[15,305,000]	[975,000]
給 与	9,500,000	8,900,000	600,000
旅 費	600,000	500,000	100,000
通 信 運 搬 費	260,000	500,000	△ 240,000
会 議 費	20,000	50,000	△ 30,000
消 耗 什 器 備 品 費	550,000	680,000	△ 130,000
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0
光 熱 水 料 費	250,000	220,000	30,000
賃 借 料	1,500,000	1,500,000	0
社 会 保 険 料	2,200,000	1,400,000	800,000
負 担 金 支 出	500,000	455,000	45,000
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	300,000	350,000	△ 50,000
登 記 費 用	50,000	100,000	△ 50,000
雑 費	300,000	400,000	△ 100,000
事業活動支出計	41,282,528	42,249,700	△ 967,172
事業活動収支差額	400,000	300,000	100,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特 定 預 金 支 出	[400,000]	[300,000]	[100,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	100,000	100,000
投資活動支出計	400,000	300,000	100,000
投資活動収支差額	△ 400,000	△ 300,000	△ 100,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支予算書内訳表(収支)

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	業 務			合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[0]	[0]	[10,000]	[10,000]
基本財産利息収入	0	0	10,000	10,000
会費収入	[8,383,600]	[0]	[8,383,600]	[16,767,200]
正会員会費収入	178,200	0	178,200	356,400
賛助会員個人会費	4,900,400	0	4,900,400	9,800,800
賛助会員団体	1,650,000	0	1,650,000	3,300,000
加盟料	305,000	0	305,000	610,000
公認料	1,350,000	0	1,350,000	2,700,000
事業収入	[14,631,828]	[0]	[0]	[14,631,828]
補助金・委託金等収入	2,000,000	0	0	2,000,000
協賛金収入	3,656,828	0	0	3,656,828
入場料収入	670,000	0	0	670,000
参加料収入	7,755,000	0	0	7,755,000
その他の収入	50,000	0	0	50,000
雑収入	500,000	0	0	500,000
補助金等収入	[9,271,000]	[0]	[0]	[9,271,000]
民間補助金収入	2,700,000	0	0	2,700,000
国庫等補助金	6,571,000	0	0	6,571,000
寄付金収入	[1,000,000]	[0]	[0]	[1,000,000]
募金収入	1,000,000	0	0	1,000,000
雑収入	[0]	[0]	[2,500]	[2,500]
受取利息	0	0	2,500	2,500
事業活動収入計	33,286,428	0	8,396,100	41,682,528
2. 事業活動支出				
事業費	[25,002,528]	[0]	[0]	[25,002,528]
コートフレイト	2,526,990	0	0	2,526,990
パンフレット	754,500	0	0	754,500
参加賞	654,400	0	0	654,400
トロフィー・メダル	389,828	0	0	389,828
保険代	40,872	0	0	40,872
交通費	355,000	0	0	355,000
宿泊費	129,880	0	0	129,880
郵便費	220,000	0	0	220,000
雑費	572,689	0	0	572,689
諸謝金	2,273,800	0	0	2,273,800
旅費	1,749,270	0	0	1,749,270
渡航費	2,328,900	0	0	2,328,900
滞航費	1,904,000	0	0	1,904,000
借料及び損料	506,880	0	0	506,880
消耗品費	547,894	0	0	547,894
スポンツ用品費	350,011	0	0	350,011
備用品費	250,000	0	0	250,000
印刷製本費	3,605,400	0	0	3,605,400
通信運搬費	100,095	0	0	100,095
雑役務費	3,281,926	0	0	3,281,926
保険料	32,310	0	0	32,310
その他	74,083	0	0	74,083
対給象付外金	1,453,800	0	0	1,453,800
経支費	900,000	0	0	900,000
管 理 費	[11,612,000]	[0]	[4,668,000]	[16,280,000]
給与	7,600,000	0	1,900,000	9,500,000
旅費	120,000	0	480,000	600,000
通信運搬費	202,000	0	58,000	260,000
会議費	10,000	0	10,000	20,000
消耗什器備品費	440,000	0	110,000	550,000
印刷製本費	80,000	0	20,000	100,000
光熱水借料	200,000	0	50,000	250,000
賃料	1,200,000	0	300,000	1,500,000
社費	1,760,000	0	440,000	2,200,000
負担金	0	0	500,000	500,000

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
公 認 会 計 士 他 費 用	0	0	150,000	150,000
公 益 法 人 関 連 費 用	0	0	300,000	300,000
登 記 費	0	0	50,000	50,000
維 持 費	0	0	300,000	300,000
事業活動支出計	36,614,528	0	4,668,000	41,282,528
事業活動収支差額	△ 3,328,100	0	3,728,100	400,000
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特 定 預 金 支 出	[300,000]	[0]	[100,000]	[400,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	0	0	100,000	100,000
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	100,000	0	0	100,000
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	0	0	200,000
投資活動支出計	300,000	0	100,000	400,000
投資活動収支差額	△ 300,000	0	△ 100,000	△ 400,000
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 3,628,100	0	3,628,100	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0
次期繰越収支差額	△ 3,628,100	0	3,628,100	0

平成29年度公益社団法人日本スカッシュ協会役員

役職名	再新任	氏名	職業・委員会・等	任期	常勤・非常勤
理事(会長)	再任	笠原 一也	元国立スポーツ科学センター長 NPO法人 日本オリンピック・アカデミー/会長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	潮木 仁	選手強化委員長 (株)スポーツステーション・ジン/ 代表取締役社長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	大根田 芳浩	競技委員長 大根田電機(株)/代表取締役社長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	新任	小幡 博	地区対策委員長/北海道支部長 セントラルウェルネスクラブ札幌勤務/インストラクター	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	新任	神谷 典子	総務委員長/国際対策委員長 (公社)日本スカッシュ協会/事務局長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	常勤
理事	再任	渡邊 祥広	T&Wカンパニー(株)/代表取締役	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	川原 貴	元国立スポーツ科学センター長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	玉利 齊	(公財)日本健康スポーツ連盟/理事長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	三枝 佳紀	セントラルスポーツ(株)/レジャー事業部長	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	師岡 文男	スポーツアコード元理事/国際ワールドゲームズ協会 理事/上智大学教授	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	小見山 幸治	元参議院議員	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	友清 敏和	元持田シーメンスメディカルシステム(株)/ 取締役	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	山岸 和彦	あさひ法律事務所/弁護士	平成28年6月定時総会日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤

現在、役員に報酬・退職金等は支給しておらず、今後も支給する予定はない。

平成29年度公益社団法人日本スカッシュ協会 名誉総裁・名誉会長・顧問

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
名誉総裁		高円宮妃殿下	
名誉会長	再任	猪谷 千春	元国際オリンピック委員会副会長/ NPO法人日本オリンピックアカデミー
顧問	再任	藤ヶ崎 訥美	元(株)三声/代表取締役社長
顧問	再任	臼井 日出男	元衆議院議員/元防衛庁長官・元法務大臣
顧問	再任	岩崎 晃	元(株)日本テレビワーク24専務取締役
顧問	再任	齋藤 敏一	(株)ルネサンス 取締役会長
顧問	再任	赤木 恭平	(公財)全日本ボウリング協会 名誉会長
顧問	再任	鈴木 恒夫	元衆議院議員/元文部科学大臣
顧問	再任	今村 正史	元コーンズドッドウェル(株)監査役
顧問	再任	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長

平成29年度公益社団法人日本スカッシュ協会 運営委員

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
運営委員	再任	足立 美由紀	関西支部長
運営委員	再任	吉田 尚弘	九州支部
運営委員	再任	柴田 亮介	東北支部
運営委員	再任	芦谷 誠治	中国四国支部
運営委員	再任	西尾 竹英	中部支部
運営委員	再任	土田 博史	千葉県支部
運営委員	再任	丹埜 倫	会長推薦
運営委員	新任	全日本学生連盟委員長	全日本学生連盟委員長
運営委員	再任	宮城島 眞知子	会長推薦
運営委員	再任	日向 孝知	会長推薦
運営委員	再任	梶田 幸子	会長推薦

平成29年度正会員名簿

29年度(33名)

氏名
小幡 博
鈴木 康之
柴田 亮介
熊田 康宏
大根田 芳浩
笠原 一也
潮木 仁
濱野 昭彦
日向 孝知
古川 泰久
神谷 典子
石川 星朗
梶田 幸子
土田 博史
丹埜 倫
宮城島 眞知子
高橋 徹

氏名
町田 信行
岡田 真弥
吉田 隆二
西尾 竹英
松岡 克夫
石川 由華子
足立 美由紀
丹羽 拓史
高木 あきみ
松下 泰和
杉本 和子
二瓶 雅美
武本 清孝
芦谷 誠治
吉田 尚弘
喜渡 正

平成 29 年度委員会・大会担当者

<委員会>

- 1) 規則公認委員会 委員長/日向
 <公認> 委員長/日向 <コンプライアンス> 担当/潮木 大根田 小幡 神谷
- 2) 選手強化委員会 委員長/潮木 副委員長/佐野 委員/山崎 (シニア委員長)、佐野 (ジュニア委員長)、小川、松本、神谷 (情報戦略担当)
 <ナショナル強化プロジェクト> ナショナルコーチ/佐野、アシスタントコーチ/山崎、小川、松本 強化スタッフ/土田、西村、横田、菊池、神子 サポートスタッフ/吉留、郡司、芦谷、菊池
 <アスリート委員会>海道泰喜
 <コーチ> 委員長/佐野 副委員長/土田 委員/足立、潮木、山崎
 <学連> 委員長/石川 副委員長/櫻井
 <アンチドーピング委員会> 委員長/酒井 委員/川原、浅野(雅)、神谷
- 3) 競技委員会 委員長/大根田 副委員長/河原
 <大会管理> 委員長/潮木 委員/河原、
 <レフリー> 委員長/大根田 委員/潮木、日向、土田、足立、佐野、山崎、小幡、柴田、千葉、小川、渡邊、小島、吉田
 <マスターズ> 委員長/齋藤 委員/大根田、マスターズクラブ
- 4) 総務委員会 委員長/神谷 委員/事務局
 <地区対策> 委員長/小幡 委員/大根田、全国地区支部委員
 <広報> 委員長/日向 委員/宮城島、梶田、神谷
 <財務> 委員長/友清 委員/梶田、吉羽、神谷
 <国際対策> 委員長/神谷
- 5) 普及渉外委員会 委員長/宮城島 副委員長委員/神谷、梶田
 委員/潮木、日向、大根田、小幡、
 <環境対策> J S Aエコプロジェクト 委員長/宮城島 委員/日向、事務局
 <エアースカッシュ>委員長/宮城島 委員/大根田、日向、青木、青柳、山崎、全国地区支部、事務局

<大会・イベント>

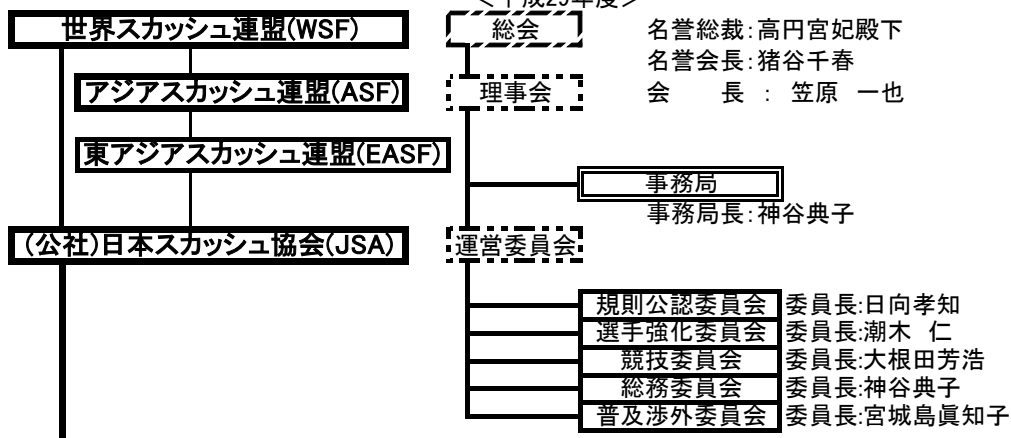
- A) 全日本アンダー23 実行委員長/潮木 副実行委員長/ 櫻井 (学連)
- B) 全日本ジュニア 実行委員長/小川 副実行委員長/土田、櫻井(学連) 島田
 委員/足立、宮城島、佐野、渡邊、ジュニア委員
- C) マスターズカーニバル 実行委員長/齋藤 委員/実行委員会
- D) 全日本選手権 実行委員長/芦谷 副委員/大根田 委員/潮木、小幡、日向、宮城島、梶田、吉羽、神谷、河原
- E) ジャパンジュニアオープン 実行委員長/佐野 副実行委員長/小川、櫻井 (学連)
 島田、委員/土田、宮城島、神谷、ジュニア委員
- F) ウインターチャレンジ 実行委員長/佐野
- G) スカッシュデー・スカッシュウィーク 実行委員長/宮城島 委員/全国地区支部員
- H) エアースカッシュ 実行委員長/宮城島 委員/委員会委員、全国地区支部員、

<事務局>

事務局長/神谷 事務局員/梶田、吉羽、檜阪、福島

公益社団法人日本スカッシュ協会組織図

<平成29年度>



TEL:03-5256-0024 <http://www.squash-japan.org>
 FAX:03-5256-0025 E-mail:squash@japan.email.ne.jp

- 代表理事:** 笠原一也☆ **顧問(アドバイザー):**
 臼井日出男 赤木恭平
 岩崎晃 鈴木恒夫
 齋藤敏一 藤ヶ崎訥美
 今村正史 グレゴリー・クラーク
- 常務理事:** 潮木仁☆
 大根田芳浩☆
 小幡博☆
 神谷典子☆
- 理事:** 川原貴
 玉利齊
 三枝佳紀
 師岡文雄
 渡邊祥広
 小見山幸治
- 監事:** 友清敏和
 山岸和彦
- 運営委員:**
 足立美由紀☆
 吉田尚弘☆
 柴田亮介☆
 芦谷誠治☆
 西尾竹英☆
 土田博史☆
 丹埜倫☆
 宮城島真知子☆
 日向孝知☆
 梶田幸子☆
 全日本学生連盟委員長☆

☆正会員 *普及会員

北海道支部 代表: 小幡博	北海道 代表: 小幡博	関西支部 代表: 足立美由紀	大阪府 代表: 石川由華子☆ 兵庫県 代表: 丹羽拓史☆ 京都府 代表: 高木あきみ☆ 和歌山県 代表: 松下泰和☆ 滋賀県 代表: 杉本和子☆ 奈良県 代表: 二瓶雅美☆
東北支部 代表: 柴田亮介	青森県 代表: 石田好光* 秋田県 代表: 加賀美久子* 山形県 代表: 鈴木康之☆ 岩手県 代表: 佐藤龍史* 宮城県 代表: 柴田亮介 福島県 代表: 熊田康宏☆ 新潟県 代表: 大根田芳浩	中国四国支部 代表: 芦谷誠治	広島県 代表: 武本清孝☆ 岡山県 代表: 長行美保* 山口県 代表: 尾瀧俊雄* 香川県 代表: 藪内誠子* 愛媛県 代表: 山本大介* 鳥取県 代表: 渡部訓久* 徳島県 代表: 井澤義治* 高知県 代表: 千頭誉和*
関東支部 代表: 濱野昭彦☆	東京都 代表: 古川泰久☆ 千葉県 代表: 土田博史☆ 神奈川県 代表: 高橋徹☆ 埼玉県 代表: 町田信行☆ 栃木県 代表: 岡田真弥☆ 群馬県 代表: 富岡大地* 茨城県 代表: 川崎孝俊☆ 山梨県 代表: 河野時子*	九州支部 代表: 吉田尚弘☆	福岡県 代表: 平野直子* 大分県 代表: 喜渡正☆ 長崎県 代表: 岡優鷹* 佐賀県 代表: 松原理恵* 熊本県 代表: 宇藤千鶴* 鹿児島県 代表: 道下和子* 宮崎県 代表: 小西康志* 沖縄県 代表: 吉田尚弘
中部支部 代表: 西尾竹英	愛知県 代表: 安藤清明* 岐阜県 代表: 西尾竹英 静岡県 代表: 松岡克夫☆ 長野県 代表: 酒井光一* 三重県 代表: 三輪明* 富山県 代表: 池田祐昇* 石川県 代表: 藤村馨* 福井県 代表: 安間保行*	全日本学生連盟 代表: 石川星朗	北海道・東北・関東・関西・中国四国・九州

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（公表）

平成 29 年 6 月 30 日

公益社団法人日本スカッシュ協会

当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に、事前に政府に届出をおこなうことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しませんので、その旨公表いたします。

[本件連絡先]

電 話

03-5256-0024

FAX

03-5256-0025

電子メール

squash@japan.email.ne.jp

（参考）国家公務員法等の規定

- ・ 国家公務員法（昭和 22 年法律第 120 号）第 106 条の 24 第 1 項第 4 号
- ・ 独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 54 条の 2 第 1 項において準用する国家公務員法第 106 条の 24 第 1 項第 4 号
- ・ 職員の退職管理に関する政令（平成 20 年政令第 389 号）第 32 条
- ・ 特定独立行政法人の役員の退職管理に関する政令（平成 20 年政令第 390 号）第 18 条
- ・ 職員の退職管理に関する内閣官房令（平成 20 年内閣府令第 83 号）第 9 条
- ・ 特定独立行政法人の役員の退職管理に関する内閣官房令(平成 20 年内閣府令第 84 号)第 8 条